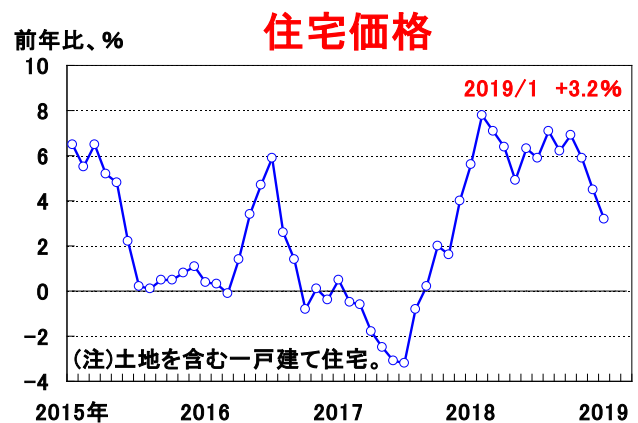
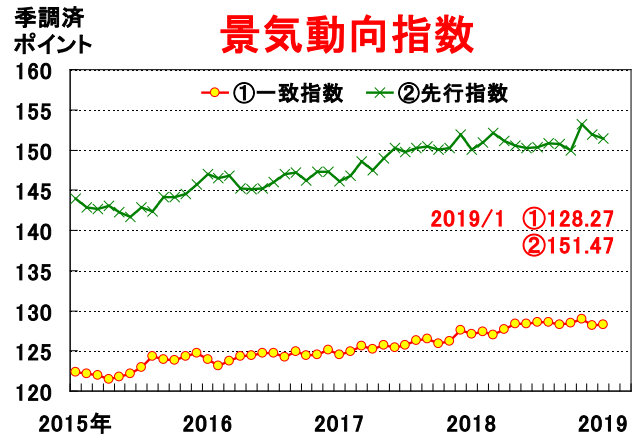
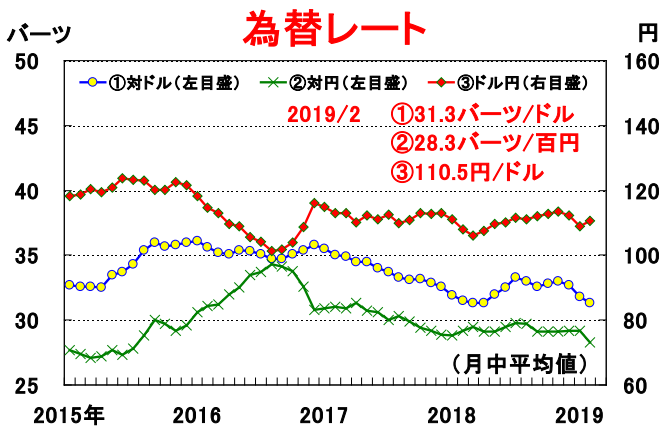
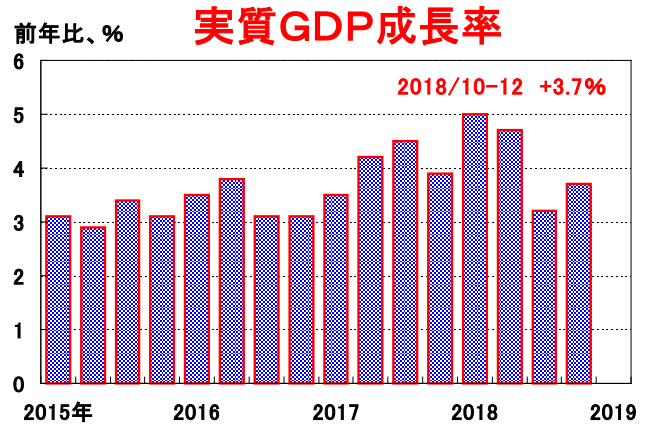
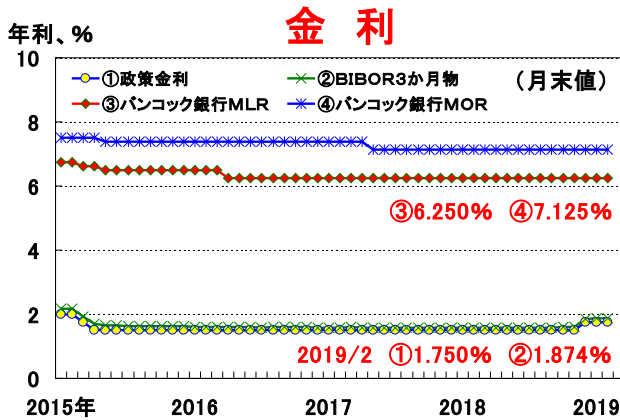


グラフで見るタイ経済 2019年3月号(No. 117)

2018年10～12月期の実質GDP(国内総生産)は前年比+3.7%(前期は同+3.2%)と、成長率が3四半期ぶりに高まった。政府支出が2期連続で減速したものの、個人消費(7～9月期:前年比+5.2%→10～12月期:同+5.3%)と総固定資本形成(7～9月期:同+3.9%→10～12月期:同+4.2%)のいずれも4期連続で増勢を強めた。一方、直近の月次指標をみると、2019年1月の輸出は前年比-5.6%(前月は同-1.7%)と中国向けの大幅な減少を受けてマイナス幅が拡大し、2月の企業景況指数も49.9と再び中立水準の50を下回った。



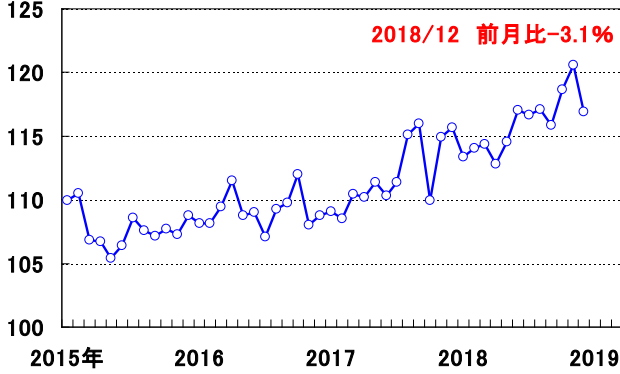
【今月のトピック:強化される観光客の安全確保策】 タイの観光協議会は、タイ政府観光庁などと協力して、観光客の安全確保にかかわる対策を強化する。2018年7月には、プーケット沖で観光客を乗せた船が転覆する大事故が発生しており、タイにとって観光客の安全確保の強化は喫緊の課題となっていた。4月から、観光バスの運行の安全強化策が導入される。運転手に対する研修や運行時間の制限などの安全基準を満たしたバスに対し、安全基準を充足している旨のロゴを表示する制度が導入される。海運に関しては、船長の無資格者が航行する違法ツアーの摘発が強化される。

(出所) タイ中央銀行、タイ国家経済社会開発委員会 (NESDB)、ブルームバーグ

本レポートの目的は情報の提供であり、何らかの行動を勧誘するものではありません。本レポートに記載されている情報は、浜銀総合研究所・調査部が信頼できると考える情報源に基づいたものですが、その正確性、完全性を保証するものではありません。ご利用に関してはお客様ご自身で判断くださいますようお願いいたします。本レポートは情報提供のみを目的として浜銀総合研究所・調査部が作成したものであり、横浜銀行との何らかの取引を勧誘するものではありません。

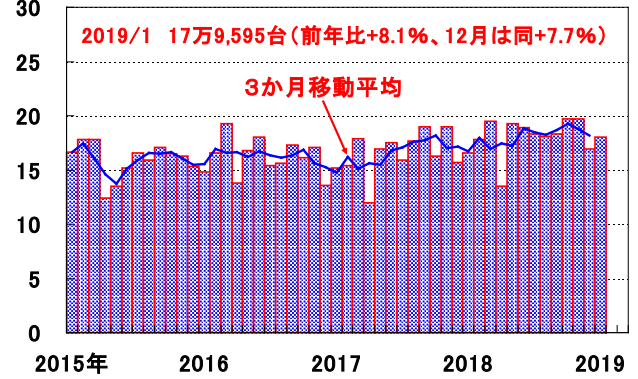
季調済
2011年=100

工業生産指数

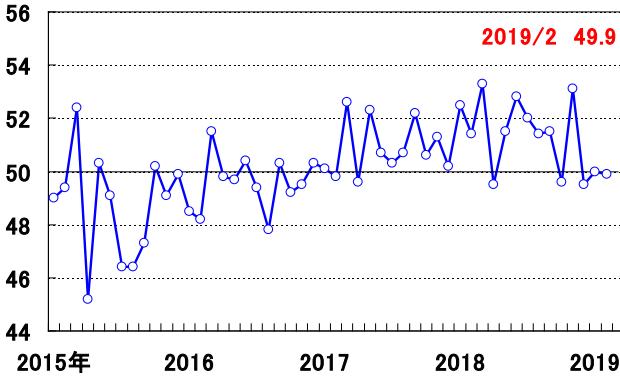


万台

自動車生産台数

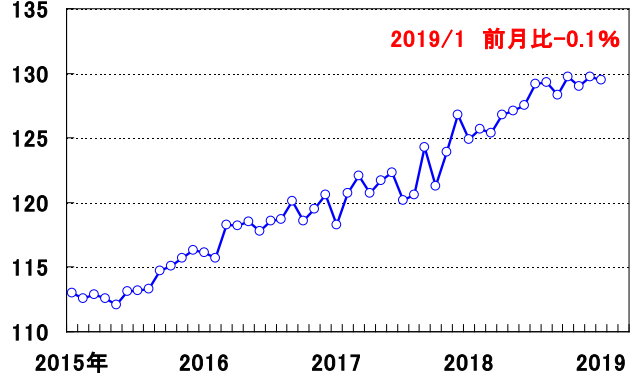


中立水準=50 企業景況指数(BSI)



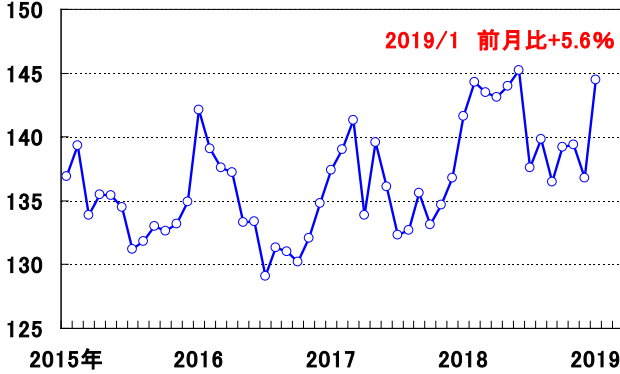
季調済
2000年=100

個人消費指数



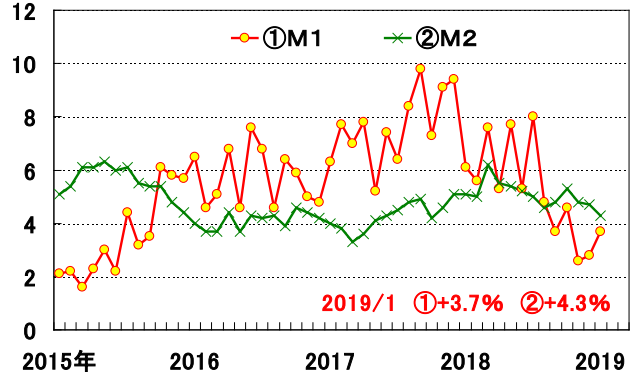
季調済
2010年=100

民間投資指数



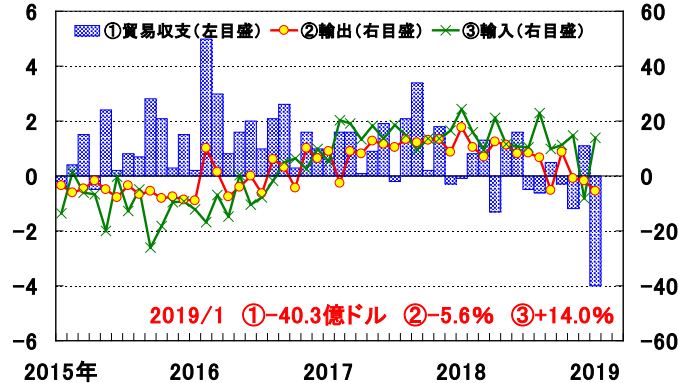
前年比、%

マネーサプライ



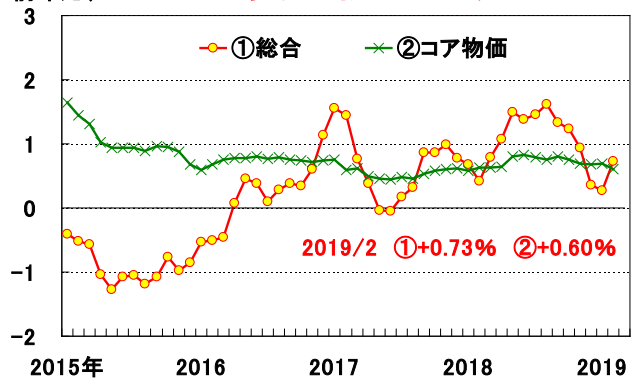
10億ドル

貿易収支



前年比、%

消費者物価指数



(出所) タイ工業省、タイ中央銀行、タイ国家統計局、タイ工業連盟 (FTI)

本レポートの目的は情報の提供であり、何らかの行動を勧誘するものではありません。本レポートに記載されている情報は、浜銀総合研究所・調査部が信頼できると考える情報源に基づいたものですが、その正確性、完全性を保証するものではありません。ご利用にはお客様ご自身で判断くださいますようお願いいたします。本レポートは情報提供のみを目的として浜銀総合研究所・調査部が作成したものであり、横浜銀行との何らかの取引を勧誘するものではありません。